

# 美しい 県土づくりNEWS



2013年  
10月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第111号  
平成25年10月29日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興

### 目次

- 2 三陸沿岸道路「普代道路」開通！
- 4 台風18号に係る公共土木施設の被害状況
- 6 「大船渡港国際フィーダーコンテナ定期航路」が開設されました！
- 7 「いわて建設業経営改善連続研修講座・成果発表会」を開催！
- 9 釜石市片岸海岸で復興工事安全祈願祭を開催
- 10 『道の駅』いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ

## 三陸沿岸道路「普代道路」開通！

三陸国道事務所がこれまで事業を進めてきました**三陸沿岸道路「普代道路」**が、**10月13日(日)**に**開通**しました。

「普代道路」は、**三陸沿岸道路の一部を構成する延長4.2kmの自動車専用道路**で、

**県内の三陸沿岸道路としては東日本大震災津波発災後初めての開通！**となります。  
現地で行われた開通式では、開通を待ち望んでいた地元の皆様など多くの方々が参列しました。



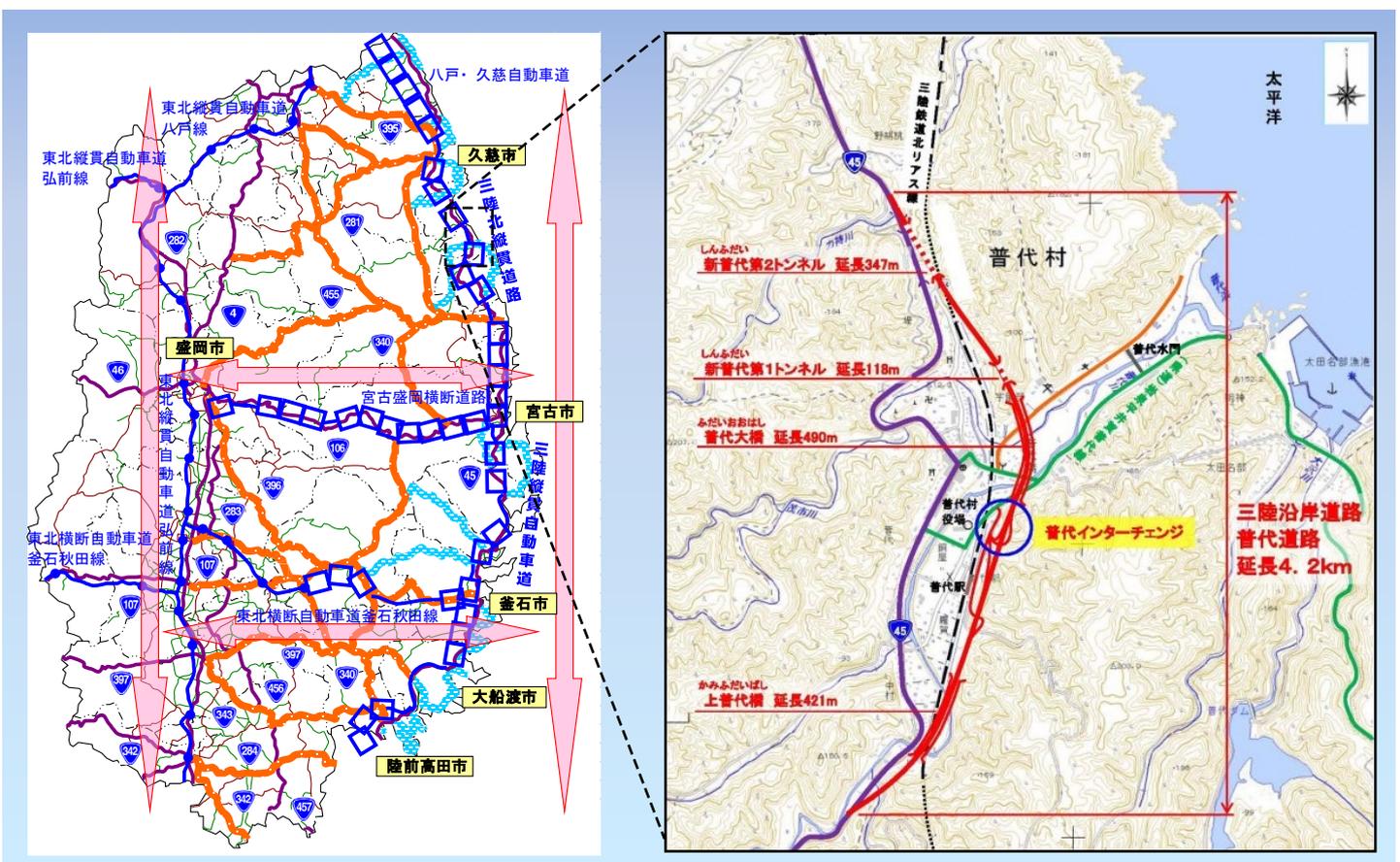
達増拓也知事、柗屋伸夫普代村長をはじめ、鈴木俊一衆議院議員、畑浩治衆議院議員、平野達男参議院議員、普代小学校・普代中学校生徒の方々ほかご来賓の皆様によるテープカット及びくす玉開披

平成 25 年 10 月 13 日 (日) 三陸沿岸道路「普代道路」開通！  
 ～県内の三陸沿岸道路としては東日本大震災津波発災後初めての開通～

道路建設課  
 県北広域振興局土木部

普代道路は、昭和 63 年度に事業化され、その後、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」の一部として国により整備が進められ、東日本大震災津波以降は、被災した地域の復興を牽引する「三陸沿岸道路（復興道路）」の一部となりました。

この度の開通は当地域の防災力の強化や安全性の向上、救急医療施設への搬送時間の短縮、沿岸地域における南北の繋がりの強化、三陸の水産業の発展や観光の振興など、様々な分野に大きな効果をもたらすものと期待されます。



国では、三陸沿岸道路をはじめとする復興道路の整備について、復興のリーディングプロジェクトとして、かつてないスピードで推進しています。

開通式では、達増知事が『岩手県東日本大震災津波復興計画』の目指す姿『いのちを守り、海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造』の実現に向けた大きな前進となるもので、普代道路を始めとする復興道路は、復興を大きな力で牽引していくものであり、なくてはならないものです』と挨拶しました。



## 三陸沿岸道路「普代道路」開通式 スナップショット



▲ 開通式を盛り上げた「ふだいまつり」のお囃子の様子



▲ 岩手県指定無形民俗文化財「鶺鴒神楽」が披露され、舞台を清める意味の清祓（きよはらい）が行われました



▲ 普代道路の開通に思いを込めた地域の方々のビデオレターが紹介されました（画面は普代村出身の東北楽天イーグルス銀次選手）



▲ 普代道路の事業概要を説明する三陸国道事務所の工藤所長



▲ 開通を祝して行われたパレードの様子



▲ 普代大橋から久慈方面を望む

## 台風18号による公共土木施設の被害状況

県土整備企画室  
盛岡広域振興局土木部  
岩手土木センター

台風18号接近等に伴う9月16日の記録的な大雨により、県内で1名が死亡、5名が軽傷を負ったほか、盛岡市、二戸市、八幡平市、一戸町などで、住家の床上浸水や床下浸水、土石流などの土砂災害、道路の損壊や冠水による交通障害などの被害が発生し、土木施設としては、松川の護岸決壊など518箇所、約64億円もの甚大な被害が発生しました。

現在、県土整備部では、関係機関の協力のもと災害状況の調査や公共土木施設の復旧作業に全力を挙げて取り組んでいるところです。

現時点における、公共土木施設の被害状況については以下のとおりです。

### 土木施設等被害状況（10月25日12時現在）

#### (1) 土木施設関係被害

被害額 64億7,745万円（調査率：約65%） ※万円未満切り捨て

管理別	施設別	被害箇所数	被害額	被害路線等（代表箇所）
県管理関係	河川	204箇所	32億8,185万円	松川、安比川
	道路	24箇所	3億7,850万円	西山生保内線
	砂防	4箇所	6,500万円	松川
	橋梁	1箇所	8,000万円	新有根橋
	小計	233箇所	38億0,535万円	
市町村管理関係	河川	157箇所	15億2,803万円	宮沢川（二戸市）、取染川（雫石町）
	道路	126箇所	9億8,107万円	大台松内線（盛岡市）、山後線（八幡平市）
	橋梁	2箇所	1億6,300万円	松内橋、松内吊橋
	小計	285箇所	26億7,210万円	
	合計	518箇所	64億7,745万円	

#### (2) 土砂災害（10月25日12時現在）

市町村名	土砂災害		
	崖崩れ	地すべり	土石流
八幡平市			1
二戸市			2
一戸町	1		4
計	1		7

(3) 交通規制の状況 (10月25日12時現在)

	全面通行止め		
	発生件数	全面通行止め継続中	片側交互通行へ移行
国 道	4路線 4箇所		
主要地方道	2路線 5箇所		1路線 1箇所
一般県道	12路線16箇所	2路線 3箇所	
計	18路線25箇所	2路線 3箇所	1路線 1箇所

【被害の状況】



国道 282 号路面冠水(八幡平市北森地区)



県道二戸五日市線繋沢路面冠水  
(八幡平市繋沢地区)



県道八幡平公園線法面崩落  
(八幡平市北の又山地区)



松川上流左岸の護岸決壊  
(八幡平市大更地区)



県道岩手平館線法面崩落  
(岩手町笈の峠地区)



安比川軽沢橋上流左岸の護岸決壊  
(八幡平市寺志田地区)



松川氾濫による下田保育園浸水痕跡  
(盛岡市玉山区下田地区)



県道西山生保内線の法面崩落  
(雫石町西根)



葛根田川左岸の護岸決壊  
(雫石町篠ヶ森)

# 「大船渡港国際フィーダーコンテナ定期航路」が開設されました！

港湾課

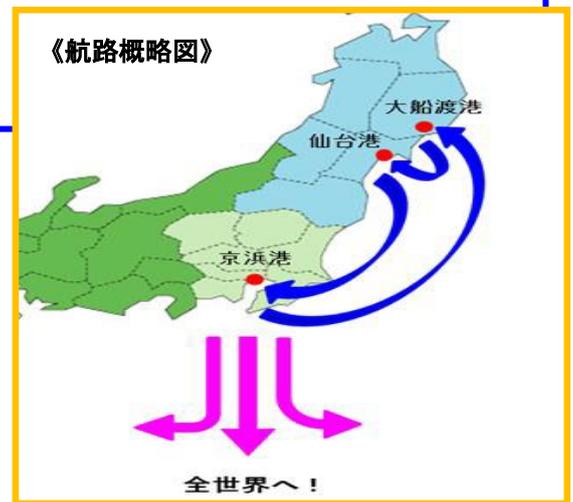
大船渡港と京浜港を結ぶ国際フィーダーコンテナ定期航路が、平成25年9月28日に新たに開設されました。大船渡港の外資コンテナ定期航路は、東日本大震災津波の発生により休止されていましたが、今回、新たに京浜港を経由して大船渡港と世界各国の港が結ばれました。

待望のコンテナ定期航路再開により、大船渡港の復興に向けた一つの節目を迎えましたが、引き続き大船渡港の早期復旧・復興に取り組むとともに、大船渡市や関係企業などと連携を図りながら、取扱貨物量の回復・拡大に向けた取組を進めていきます。

※「国際フィーダー航路」とは、国内の港湾を結ぶ内航フィーダー航路のうち、国際コンテナ戦略港湾(京浜港、阪神港)と国内港湾を結ぶ航路を国が「国際フィーダー航路」という名称に改めたもの。

## 【大船渡港国際フィーダーコンテナ定期航路の概要】

- 航路： 京浜港（木）～大船渡港（土）～仙台港（日）～京浜港（月）  
〔週1便寄港、京浜港を経由し海外に輸出（又は輸入）〕
- 運航船社： 《外航航路》川崎汽船株式会社（通称“K”LINE）  
《内航航路》鈴与海運株式会社
- サービス船社： 株式会社ケイラインジャパン
- 航路開設日： 平成25年9月28日（土）
- 寄港開始日： 平成25年9月30日（月）



コンテナ船に貨物を積み込む様子



再開した大船渡港コンテナターミナル

# 「いわて建設業経営改善連続研修講座・成果発表会」を開催!

建設技術振興課

平成 25 年 9 月 27 日、「いわて建設業経営改善連続研修講座成果発表会」を盛岡市の大通会館リリオで開催しました。

県と岩手県建設業協会では、平成 24 年 11 月から、東日本大震災津波からの復興後を見据え、経営改善に取組み、復興後も技術と経営に優れた地域の中核的な企業として存続していく建設企業を育成することを目的として、経営改善計画の立案・策定を支援してきました。

当日は、聴講者 50 名余りが参加し、連続研修講座参加企業 6 社（建設企業 5 社、関連企業 1 社）が、成果としてとりまとめた経営改善計画のプレゼンテーションを行いました。

経営改善計画の策定段階は各社まちまちですが、自社の経営状況把握や経営理念の見直しなどが進められていました。

中には、「経営理念の見直し」、「人事組織の改正」、「次期後継者の指名」、「具体的な数値目標、改善工程表の作成」など大きな進捗が見られた企業もあり、参加した各社からは、いずれも有意義であったとの声が寄せられました。

平成 25 年度の連続研修講座も、11 月から募集を開始しますので、建設企業の皆さんぜひご参加ください。

## 研修参加企業 6 社

企業名	所在地	経営改善テーマ
株式会社平野組	一関市	住宅関連事業の業務強化
昭栄建設株式会社	盛岡市	100周年へ向かって進化する
工藤建設株式会社	奥州市	本業の体質強化と自然エネルギー部門の本格化
株式会社太田建設	奥州市	現場代理人の意識改革
さくらの湯	奥州市	各事業の連動による総合力の発揮
丸正建設株式会社	平泉町	継続的企業になるために



参加企業によるプレゼンテーション



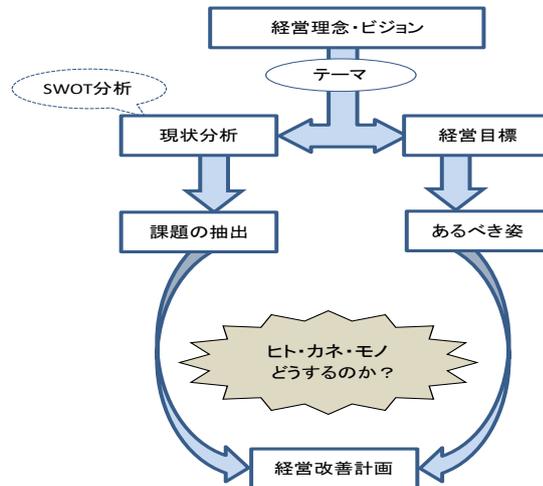
宮健講師（中小企業診断士協会会長）による講評

## いわて建設業経営改善連続研修講座の概要

(平成24年度版)

### 1 目的

・東日本大震災からの復興後の将来を見据え、経営改善に取組み、復興後も技術と経営に優れた地域の中核的な企業として存続していこうとする意欲ある建設企業に対し、いわて建設業経営改善連続研修講座を開催し、経営改善計画の立案・策定を支援する。



### 2 事業内容・カリキュラム

#### (1) 前期 (H24. 11月～H25. 3月)

経営者等が自社の現状を的確に把握・分析し、経営課題を明らかにするための全体講義 (4回)

- ① H24. 11月 経営理念 ②H24. 12月 財務管理
- ③ H25. 1月 経営管理 ④H25. 2月 現場管理 (工程改善)

#### (2) 後期 (H25. 4～9月)

各社の決算や経営課題を踏まえて、経営改善計画の立案・策定。

- ・中小企業診断士が企業を訪問し、経営者等に指導助言。
- ・面談時に提出するレポート等については、経営支援センターのコーディネーターが作成を支援。
- ・経営改善計画案策定後、プレゼンによる意見交換を行い、実効性を高める。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
コーディネーター 経営理念、現状分析	診断士 面談Ⅰ	診断士 面談Ⅱ		診断士 面談Ⅲ	プレゼン 発表会
	コーディネーター 経営目標・あるべき姿	コーディネーター 経営改善計画の立案		コーディネーター 経営改善計画の策定	

### 3 対象者等

- (1) 対象者：岩手県内に本店を置く建設業許可業者
- (2) 企業数：8社
- (3) 受講者：1社 2名 必ず次世代を担う経営者又は後継者を含むこと。
- (4) 受講費用：1社 8万円
- (5) 講師：岩手県中小企業診断士協会会長、トヨタ自動車東日本株式会社P S事業室長 等

# 釜石市片岸海岸で復興工事 安全祈願祭を開催

～ 土地収用手続きと工事実施を並行し復興加速化！～

沿岸広域振興局土木部  
河川課

## 【工事安全祈願祭】

平成 25 年 10 月 7 日、釜石市片岸海岸において片岸海岸災害復旧仮締切堤工事（災害復旧事業）の安全祈願祭が開催されました。

本箇所は、所有者不明等の権利者間調整に多数の問題を抱えているため、土地収用法に基づく手続きを進めているところですが、復旧・復興の早期実現のために、解決済み用地の範囲内で工事に着工したものです。

安全祈願祭には、地権者、施工業者、市、県、国等の関係者約 29 名が出席し、鍬入れや玉串奉てんなどの神事が行われました。

施工業者の、新光建設株式会社が「安全に、そして責任を持って施工したい」と決意を述べられました。



神事の様子



鍬入れの儀（鎌）



野田市長あいさつ



発注者代表（静岡県派遣職員）

【片岸海岸災害復旧仮締切堤工事<事業主体：岩手県>】

片岸海岸は、東日本大震災津波により海岸堤防延長の約2/3が完全に決壊し、広い範囲で発生した地盤変動により約1m沈下しました。

復旧にあたっては、T.P.+6.4mの高さであった片岸海岸の防潮堤をT.P.+14.5mに嵩上げする計画です。 ※T.P.：東京平均海面(全国の標高の基準となる高さ)

当地区の事業用地を取得するにあたっては、

- ①土地の所有者が確定できない箇所がある
- ②相続が発生し関係人の数が多い箇所がある
- ③相続人の方の一部に所在が不明な方がいる箇所がある

などの課題のある箇所があり、これらの解決のために土地収用法に基づく手続きを進めており、平成25年8月19日に事業認定の処分がなされ、平成25年9月3日に収用の手続開始が告示されています。

一方で、復旧・復興の早期実現のために、本制度を活用せずに解決できた箇所について、今回先行して工事に着工しました。

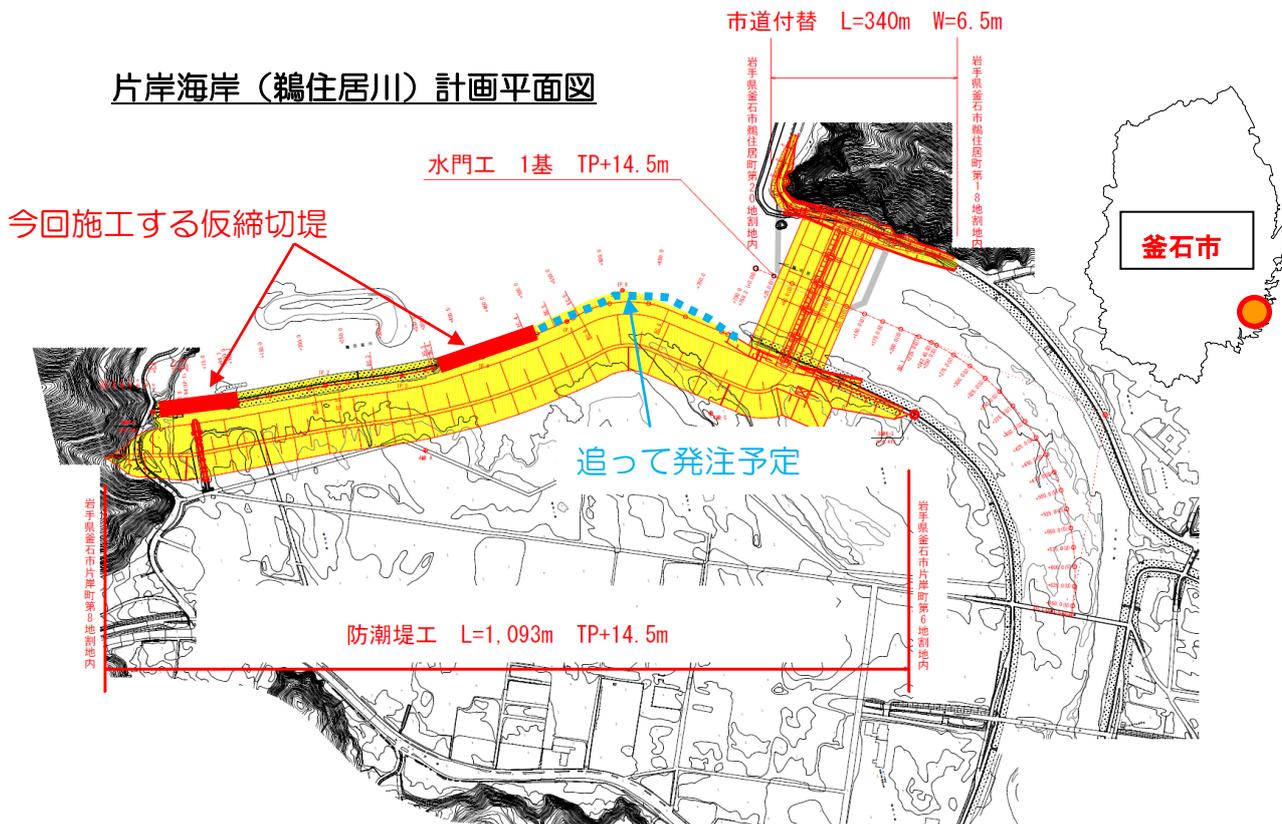


片岸海岸被災状況

【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、釜石市など関係機関との連携を図りながら復興事業が加速できるよう取り組んでいきます。

片岸海岸（鵜住居川）計画平面図



## 第10回岩手『道の駅』いーはとーぶスタンプラリー 開催のお知らせ

道路環境課

第10回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリーが、平成25年11月1日（金）から平成26年4月6日（日）までの間、開催されます。皆様の参加をお待ちしています。

### ●スタンプラリーの内容

#### ★完走賞

全30駅を制覇された方には、完走証明書を発行します。

#### ★いわって大賞

20駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で10名様に8,000円相当の岩手県内産品をプレゼント

#### ★つめちゃったで賞

10駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で15名様に5,000円相当の岩手県内産品をプレゼント

#### ★馬かったで賞

5駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で90名様に県内道の駅特産品をプレゼント

#### ★ありがとう!!第10回記念賞

3駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で300名様に岩手県「道の駅」オリジナルQ.U.Oカードをプレゼント

### ●応募ハガキは、県内の道の駅各駅にあります

岩手県内の「道の駅」に置いている応募ハガキ（お1人様1枚）に各「道の駅」のスタンプを捺印し、必要事項を記入の上、切手を貼って応募してください。



道の駅高田松原は現在休業中です。

これからの時期は、峠部等において、路面凍結のおそれがあります。  
時間と車間距離に余裕を持った運転をお願いします。